

札幌国際芸術祭

Sapporo International Art Festival

Usa Mosir un Askay utar Sapporo otta Uekarpa

札幌国際芸術祭

出前
授業

札幌国際芸術祭 サイアフ SIAFスクール

令和7年度出前授業の
参加校を募集します！

札幌国際芸術祭^{サイアフ}(SIAF)では芸術祭を「未来の学校」と位置付け、アーティストや研究者、教育関係者、専門家などを交えた様々なプログラム「SIAFスクール」を実践してきました。

この「SIAFスクール」の一環として、札幌市内の小中学校の児童・生徒を対象にした出前授業を実施します。この出前授業は、SIAF事務局とアーティストや企業が協働して内容を作り上げたものです。

SIAFでは、出前授業を通じて、新しい創作体験との出会いや、さまざまな思考力を鍛える機会を創出します。複数のプログラムを用意していますので、ぜひご検討ください。ご応募をお待ちしています。

札幌国際芸術祭
出前授業の妖精「ジュッピー」



札幌国際芸術祭とは

札幌国際芸術祭(Sapporo International Art Festival 略称:SIAF)は3年に一度、札幌で世界の最新アート作品に出合える、特別なアートイベントです。絵画や彫刻だけではなく、映像や空間全体を使った作品、プログラミングやAI(人工知能)などのテクノロジーを使った作品、身近な素材で新しい風景を生み出す作品など、さまざまな作品を紹介しています。2024年には初の冬季開催として、劇場施設やさっぽろ雪まつりを会場に、多彩な展覧会やプロジェクトを展開しました。次回は2027年1月～2月の開催を予定しています。



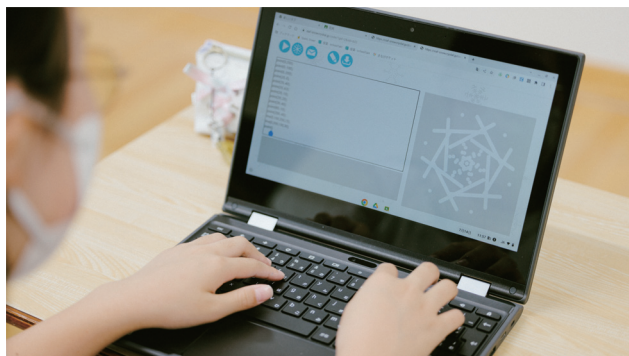
さっぽろ雪まつり大通2丁目会場
ENESS《Airship Orchestra》



札幌国際芸術祭 in さっぽろ雪まつり大通6丁目会場
フジ森《みんなのコード【雪・木・星】》

プログラミングでアートにチャレンジ

- ①-1「自分だけの雪の結晶を制作しよう」 ①-2「自分だけの煌めきを作ろう みんなの夜空を作ろう」
①-3「自分だけの木を制作しよう」



●実施内容

アーティストのフジ森が開発した、小中学生でも簡単に扱えるテキストプログラミングのウェブアプリケーションを活用したワークショップです。

「雪の結晶」、「星の瞬き」、「木」という身近な自然環境や暮らしの中にあるものを題材に、題材そのものについての学びを深めた後、プログラミングで図形制作を行います。

●ねらい

身近な存在の「雪の結晶」、「星の瞬き」、「木」について構造や形態を学び、知識を深めることで、新しい気づきや発見を得ることができます。加えて、汎用的なテキストプログラミング(JavaScript)によるプログラミング環境を使用することで、コンピュータと対話するようにデジタルの基本に触れ、論理的思考を育てます。

●所要時間

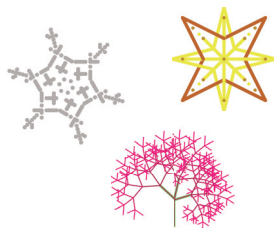
60分～90分(授業2コマ分程度)

●授業の位置づけ

小学生／図工、理科、算数、総合的な学習の時間など
中学生／美術、理科、数学、総合的な学習の時間など



出前授業の参考映像を
こちらからご覧いただけます



●授業の流れ

1 時間 目	札幌国際芸術祭(SIAF)の紹介
	講師紹介
	題材に関するミニレクチャー
	プログラミングに関するレクチャー
2 時間 目	プログラミングに挑戦
	出来上がった成果の共有

●各プログラム

	プログラム名	対象学年	募集校数
① 1	自分だけの雪の結晶を制作しよう	小学3年生～5年生	5校程度
① 2	自分だけの煌めきを作ろう みんなの夜空を作ろう	小学3年生～5年生	5校程度
① 3	自分だけの木を制作しよう	小学6年生～ 中学3年生	5校程度

※応募校多数の場合は、これまでの実施実績等を考慮の上、選考とさせていただきます。

●講師

札幌国際芸術祭実行委員会事務局スタッフ

●応募要項

一度の実施人数は30～70名程度が望ましいですが、お気軽にご相談ください。

応募期間:5月13日(火)～6月10日(火)

実施期間:8月25日(月)～11月28日(金)

参加に必要な環境:パソコン(一人一台)、インターネット環境

協力:北海道大学 名誉教授 古川 義純 /



札幌市博物館活動センター



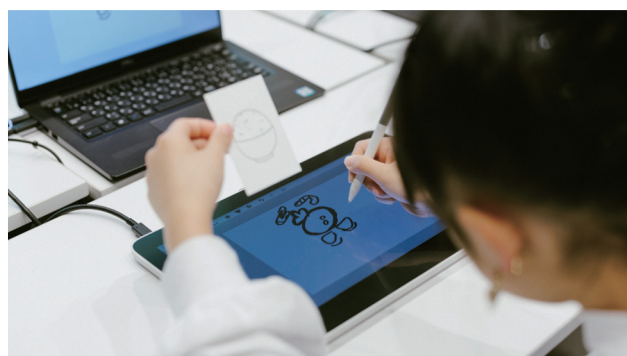
〔ウェブアプリケーション制作〕 フジ森 (アートユニット)

フジ森は、藤木淳と藤木寛子の夫婦によるインタラクティブ・アート・ユニット。

構想はそれぞれで持ち寄り、藤木淳がインタラクティブ設計、藤木寛子がビジュアル構成を担当し、鑑賞者参加型のアート作品を展開している。藤木淳は独自のアルゴリズムに基づくインタラクティブ作品を制作。藤木寛子は映像インスタレーションなどの作品を制作。

2014年より合作を始め、2019年よりユニット名をフジ森とした。

自分だけの新しいモンスターを作ってみよう ～ワコム流アイデアワーク～



●実施内容

40年間デジタルペンとタブレットを作ってきた「株式会社ワコム」が開発した新しいアイデアワークです。手にしたカードをヒントに思考を巡らせながら、紙とペン、ペンタブレットを使って、あなただけのモンスターを作ります。クラスの仲間たちと偶然から生まれるアイデアを楽しみましょう。

●ねらい

・デジタルの視点

アニメや映画制作スタジオなど、プロの制作現場で使われているデジタル機材を体験します。最新のデジタルの絵の具を使って、絵を描くのが苦手な子どもでもデジタルの魅力で完成までたどり着きます。

・ものづくりの視点

問題や課題は、新しい発想によって解決されてきました。新しい発想の実例として、ワコムのペンタブレットに採用されている技術について紹介します。

・アートの視点

新しいアイデアを生み出すための考え方と、多様な視点でのものの見方を体験します。

●所要時間 60分～90分(授業2コマ分程度)

●授業の位置づけ

小学生/図工、理科、算数、総合的な学習の時間など

●授業の流れ

1 時間 目	札幌国際芸術祭(SIAF)の紹介
	講師紹介
	ペンタブレットの技術についてミニレクチャー
2 時間 目	ルール説明、練習
	本番制作
	仕上げ
	作品の共有

●講師 川瀬寛人、浅田 一(株式会社ワコム)
札幌国際芸術祭実行委員会事務局スタッフ

●対象学年 小学3年生～6年生

●募集校数 5校程度

※応募校多数の場合は、これまでの実施実績等を考慮の上、選考とさせていただきます。

●応募要項

一度の実施人数は最大で40名程度となります。

応募期間:5月13日(火)～6月10日(火)

実施期間:8月25日(月)～11月28日(金)

参加に必要な環境:

インターネット環境、空き教室(出前授業会場として)



[プログラム制作パートナー] 株式会社ワコム

株式会社ワコムは、デジタルペンの技術を通して、「デジタルで描(書)く」体験を提供する、「テクノロジー・リーダーシップ・カンパニー」です。日本発のワコムのペンタブレット製品は、現在全世界150以上の国と地域で、映画制作や工業デザインのスタジオ、デザイナー、マンガ家などのプロクリエイターや、市役所窓口やホテルのチェックイン端末など幅広い用途で使用されています。SIAF2024では、イニシアティブ・パートナーとして展示プログラムや1dayイベント「ワコム国際芸術祭」の開催、またSIAFスクールとのコラボレーションによるオリジナルワークショップを開催しました。

各プログラムの応募から実施までの流れ

- 1 応募用紙を札幌国際芸術祭実行委員会事務局にメールで送付してください。
(宛先: operation@siaf.jp) ※6月10日(火)締切
- 2 事務局から学校にご連絡し、打ち合わせの日程を決めます。
- 3 実施内容や実施日などの詳細を打ち合わせます。
- 4 日程を調整し、実施日を確定させて学校にご連絡します。
- 5 出前授業実施



※実施は1学校につき1プログラムとさせていただきます。

※応募校多数の場合は、これまでの実施実績等を考慮の上、選考とさせていただきます。

教育喫茶

「SIAFスクール」の一環として実施している「教育喫茶」は、教育に関わる先生や学生、アーティストなどが集い、教育とアートに関する課題や可能性を話し合う場として、月1回程度、札幌市資料館を中心に活動しています。実験的なプログラムを作ったり、体験したりする中で、学校と芸術祭が「これからの教育」を共に考え、創造するプラットフォームとして機能していくことを目指しています。「教育喫茶」では随時参加者を募集しています。ご興味のある方は下記[お問い合わせ]メールアドレスまでご連絡ください。



主な取り組み

- ・定期的なミーティングの実施 ・新しい教育プログラムの開発
- ・ワークショップやトークイベント等の企画・実施 など

主催: 札幌国際芸術祭実行委員会 / 札幌市

助成: 令和7年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業



お問い合わせ: 札幌国際芸術祭実行委員会事務局

〒060-0001 札幌市中央区北1条西2丁目1番地 札幌時計台ビル10階

TEL: 011-211-2314 E-mail: operation@siaf.jp